

地産地消のよさ

5年 説明文 3番

名前

スーパーマーケットに行くと、遠い外国から運ばれてきた野菜や果物が、たくさんならんでいる。一年中、いろいろな食べ物が手に入るのは、たしかに便利だ。しかし今、それとは反対に、「地産地消」という考え方が、あらためて注目されている。

地産地消とは、その土地でとれたものを、その土地で消費する、つまり食べるという意味である。近くの畑や海でとれた食べ物を、近くに住む人が食べる。昔はあたりまえだったこの考えに、今、大きなよさが見直されているのだ。

一つ目のよさは、新せんさである。作られた場所から食たくまでのきよりが短いので、とれたてに近い、新せんな味を楽しむことができる。二つ目は、運びきよりが短くなる分、トラックなどが出す二酸化炭素を、減らせることだ。

さらに、だが、どのように作ったのかが分かりやすく、安心して食べられるというよさもある。また、地元の農家や漁師の仕事を支え、地域全体を元気にすることにも、つながっていく。

もちろん、課題もある。地元だけでは、そろえられる食べ物の種類や量に、どうしても限りがある。天候によって、とれる量が大きく変わることもある。すべてを地元産でまかなうのは、そう簡単なことではない。

それでも筆者は、わたしたちが、できる範囲で地元の食べ物を選んでいくことには、大きな意味があると考ええる。地元の味を知り、作る人のことを思いながら食べる。その一口一口が、自分の住む地域の未来を支える、たしかな力になるのだ。



School Stock 『地産地消のよさ』より

(1) 「地産地消」とは、どういう意味ですか。文章の言葉を使って説明しましょう。

(2) 地産地消のよさを、文章から二つ書きましよう。

(3) 地産地消の課題を、文章から一つ書き出しましよう。

(4) 次の文のうち、筆者の「意見」を述べた文には○、確かめられる「事実」を述べた文には△を書きましよう。

() 運びきよりが短くなる分、二酸化炭素を減らせる。

() できる範囲で地元の食べ物を選んでいくことには、大きな意味がある。

() 地元だけでは、そろえられる食べ物の種類や量に限りがある。

(5) あなたは、これからの買い物や食事で、どんなことを心がけたいですか。この文章をもとに書きましよう。

例えば
「買い物（か）のときは、地元（じもと）でとれた野菜（やさい）や果物（くだもの）を、なるべく選ぶ（えら）ぶ。」
「作（つく）ってくれた人（ひと）のことを思いながら、旬（しゅん）の物（もの）を、残さず食（た）べる。」

地産地消のよさ
解答
5年 説明文 3番

名前

スーパーマーケットに行くと、遠い外国から運ばれてきた野菜や果物が、たくさんならんでいる。一年中、いろいろな食べ物が手に入るのは、たしかに便利だ。しかし今、それとは反対に、「地産地消」という考え方が、あらためて注目されている。

地産地消とは、その土地でとれたものを、その土地で消費する、つまり食べるという意味である。近くの畑や海でとれた食べ物を、近くに住む人が食べる。昔はあたりまえだったこの考えに、今、大きなよさが見直されているのだ。

一つ目のよさは、新せんさである。作られた場所から食たくまでのきよりが短いので、とれたてに近い、新せんな味を楽しむことができる。二つ目は、運ぶきよりが短くなる分、トラックなどが出す二酸化炭素を、減らせることだ。

さらに、だが、どのように作ったのかが分かりやすく、安心して食べられるというよさもある。また、地元の農家や漁師の仕事を支え、地域全体を元気にすることにも、つながっていく。

もちろん、課題もある。地元だけでは、そろえられる食べ物の種類や量に、どうしても限りがある。天候によって、とれる量が大きく変わることもある。すべてを地元産でまかなうのは、そう簡単なことではない。

それでも筆者は、わたしたちが、できる範囲で地元の食べ物を選んでいくことには、大きな意味があると考える。地元の味を知り、作る人のことを思いながら食べる。その一口一口が、自分の住む地域の未来を支える、たしかな力になるのだ。



School Stock 『地産地消のよさ』より

(1) 「地産地消」とは、どういう意味ですか。文章の言葉を使って説明しましょう。

(例) その土地でとれたものを、その土地で(近くに住む人が)食べる。

(2) 地産地消のよさを、文章から二つ書きましよう。

(例) ①作られた場所から近く、新せんな味を楽しむること。②運ぶきよりが短く、二酸化炭素を減らせること。(安心して食べられる／地域を元気にする、でもよい。)

(3) 地産地消の課題を、文章から一つ書き出しましよう。

(例) 地元だけでは、そろえられる食べ物の種類や量に限りがある。(または、天候でとれる量が変わる。)

(4) 次の文のうち、筆者の「意見」を述べた文には○、確かめられる「事実」を述べた文には△を書きましよう。

△() 運ぶきよりが短くなる分、二酸化炭素を減らせる。

○() できる範囲で地元の食べ物を選んでいくことには、大きな意味がある。

△() 地元だけでは、そろえられる食べ物の種類や量に限りがある。

(5) あなたは、これからの買い物や食事で、どんなことを心がけたいですか。この文章をもとに書きましよう。

(例) 買い物のときは、地元でとれた野菜や果物を、なるべく選ぶようにしたい。作ってくれた人のことを思いながら、残さず食べた。

例えば
「買い物のときは、地元でとれた野菜や果物を、なるべく選ぶ。」
「作ってくれた人のことを思いながら、旬の物を、残さず食べる。」

問1 （例）その土地でとれたものを、その土地で（近くに住む人が）食べること。

二つ目の段落に「その土地でとれたものを、その土地で消費する、つまり食べるという意味」とあります。

問2 （例）①作られた場所から近く、新せんな味を楽しめること。②運ぶきよりが短く、二酸化炭素を減らせること。（安心して食べられる／地域を元気にする、でもよい。）

三つ目・四つ目の段落から、二つのよさを書き出せていれば正かいです。

問3 （例）地元だけでは、そろえられる食べ物の種類や量に限りがある。（または、天候でとれる量が変わる。）

五つ目の段落に、課題が書かれています。どちらか一つでよいです。

問4 （△）（○）（△）

「二酸化炭素を減らせる」「種類や量に限りがある」は事実（△）。「大きな意味がある」は、筆者の考え＝意見（○）です。

問5 （例）買い物のときは、地元でとれた野菜や果物を、なるべく選ぶようにしたい。作ってくれた人のことを思いながら、残さず食べたい。

文章の内ようをふまえ、自分ができる具体的な心がけが書けていれば正かいです。